

政策調整会議の概要

開催日：平成20年5月15日（木）

◎項目

産業振興計画の進捗状況について【政策企画部等】

◎内容

【説明概要】

○政策企画部から、産業振興計画の進捗状況について説明を行った。

- ・ 「産業振興計画検討委員会」の委員の内諾もいただき、6月6日（金）に第1回の委員会を開催する。資料としては、各産業分野の現状と課題や検討の視点といったものになる。詳細な議論は専門部会ということで了承いただき、6月中下旬には各専門部会を開催したい。
- ・ 4月には、全市町村長を訪問して、計画策定の説明を行い、意見を伺った。
- ・ 関係各部の副部長による「産業成長戦略検討ワーキンググループ」の会議を、これまで5回開催した。各分野の現状と課題の整理やワークシートを活用して既存計画の点検を行うなどして、各専門部会でどのような内容を議論していただくかを検討している。
- ・ 地域アクションプランについては、5月上旬までに地域支援企画員や出先機関職員による勉強会を終わらせており、今後、各市町村単位でワーキンググループの会議を進めていく。

○農業振興部、森林部、海洋部、商工労働部及び観光部から、それぞれ、専門部会で今後検討に必要なと思われる視点等について説明を行った。

【主な意見】

（副知事）

- ・ これまで取り組んできた事業の中で、コアとなる部分はコアとしてやっていく、しかし、成長戦略ということで「生産、加工、流通・販売」という各段階で並べてみて、足りない部分は、こういう観点で、こういうふうを考えています、という説明ができないと、前と同じことを説明して、何を議論しろというのか、ということになる。もう少し知恵を出し合って、委員や県民の皆さんに期待していただけるように、資料づくりや説明の仕方も工夫してほしい。
- ・ 例えば、グリーンツーリズムやブルーツーリズムを実施するといったときに、どこにどのような資源があって、可能性があるということの一部局だけで検討するのではなく、農業振興部、森林部、海洋部及び観光部と一緒に検討に必要なことの詰めをしてから部会に臨むという作業もいるのではないかと。
 - 横断的なテーマについては、窓口を決めて庁内で話をしてから部会に臨むようにする。
- ・ 国のいろんな戦略の中で、どのような方向性で、どのように議論されるかをよく注視して、先んじてこの計画の中で政策として打っていけるかということも、新たな観点として考えていってもらいたい。